

参加費
無料

A Commemorative Lecture of the Japan Foundation Awards 2019

2019年度 国際交流基金賞 受賞記念講演会

会場:国際交流基金本部 2階 ホール[さくら]

インドネシア元日本留学生協会 (プルサダ) 55年の歩み

1963年に元日本留学生を中心に設立され、現在では約8千人の元日本留学生を擁する一大組織として、日本とインドネシアをつなぐ意義ある活動を数多く展開しています。1986年にはプルサダとインドネシア日本友好協会が中心となって私立のダルマ・プルサダ大学が設立されました。大学は、今に至るまで日本とインドネシアの懸け橋となる人材を多数輩出しています。

55 Years History of Association of Indonesian Alumni (PERSADA) From Japan

11²⁰¹⁹ / 9 SAT
14:00~15:30 (13:30開場)

日本とインドネシアをつなぐ交流拠点として、今後も両国間ならびにアセアン諸国との友好交流の中核としての役割を担っていくプルサダ。本講演ではプルサダの55年の歩みを振り返るとともに、大学間連携、学生訪日プログラム、日本語教育など今後の動きについて語ります。

第一部

「プルサダ55年の歩み」(英語→日本語通訳付)

登壇者: Ismadji Hadisumarto イスマジ・ハデスマルト(プルサダ第一副会長)

第二部

「最近の取り組み:日本語事業を中心に」(日本語)

登壇者: Hidekie Amangku ヒデキ・アマンガ(プルサダ事務局長) 聞き役: 迫田 久美子(広島大学副理事)

終了後に懇親会を予定しております。

参加
お申込
方法

ウェブサイトよりお申し込みください。(先着順で申し込みを受付。定員になり次第、締め切らせていただきます。)

<https://www.jpf.go.jp/j/about/award/>

国際交流基金賞 検索



主催
国際交流基金





インドネシア元日本留学生協会(プルサダ) 55年の歩み

登壇者



イスマジ・ハディスマルト(プルサダ第一副会長)

Ismadji Hadisumarto

1971年横浜国立大学卒業。日本で職業訓練を受けた後、インドネシアに帰国。1973年から造船業に従事。2003年より現在まで、プルサダ第一副会長、また他にメラティサクラ財団のファースト・チェアマンも務めている。



ヒデキ・アマング(プルサダ事務局長)

Hidekie Amangku

1995年東洋大学卒業。帰国後、2007年よりPT.MAMBERAMOPT ALAS MANDIRI代表取締役社長(現職)。プルサダでは役員広報部、副事務局長を経て2015年から事務局長を務める。



広島大学副理事

迫田 久美子

広島大学、国立国語研究所の日本語教育研究センターを経て、2017年に広島大学へ復職。40年以上の日本語教育経験から、学習者の誤用や言語使用に興味を持ち、コーパスを利用した日本語の習得研究を専門とする。



国際交流基金賞とは

国際交流基金賞は国際交流基金設立の翌年である1973(昭和48)年に始まり、2019年度で47回目を迎えます。本賞では、学術、芸術その他の文化活動を通じて、国際相互理解の増進や国際友好親善の促進に特に顕著な貢献があり、引き続き活動が期待される個人又は団体を顕彰しています。

会場

国際交流基金本部
2階
ホール[さくら]

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

交通 地下鉄丸ノ内線「四谷3丁目」下車、徒歩3分。

